



津軽海峡遠泳連盟

本格始動



津軽海流は対馬海流から太平洋側へ抜ける暖流のこと。スイマーを東側へ押し流してしまう。

ただ、津軽海峡は潮の流れが速く、海流が入り組んでいるので泳ぐ道の間違えると潮に流されて失敗してしまう可能性が高くなります。権現崎から白神岬までのルートは、津軽海流に乗って流れつきやすく、距離も短いので挑戦に適したルートです。

津軽海峡遠泳の成功条件は、青森―北海道間を一度も船に戻らず泳ぎ切ることです。青森側からでも北海道側からでも、泳ぎ切れれば成功となります。

ここがポイント！①

今年の挑戦者10名の先陣をきったのは、ステイブ・リーチさん(51歳：出身スコットランド)とエドワード・コラゾさん(54歳：出身ヘルー)の2名です。6月20日の早朝、小泊漁港から伴走船2隻にそれぞれ乗り込み、権現崎まで到着すると午前3時55分、船を降り、自らの力で北海道の白神岬周辺まで遠泳を開始しました。



お互いの成功をたたえ合うスイマー2人
左：エドワードさん 右：ステイブさん

ここがポイント！③

津軽海峡遠泳はいつでもすぐ挑戦できるわけではありません。伴走する船を手配したり、泳ぐ日程を事前に海上保安部に届け出るなど、各種手続きが必要になります。

海外にいながらこれらの作業を行うことは非常に難しく、いままでは希望者に対して実際に挑戦するスイマーは少数でした。

昨年発足した津軽海峡遠泳連盟が伴走船の手配、届け出などを代行することで、挑戦するスイマーが増え、遊漁船事業者や飲食店、宿泊施設など小泊地域の活性化につながると考えています。

津軽海峡で地域を活性化 「津軽海峡遠泳」

青

森県民が慣れ親しむ津軽海峡が、とあるスポーツに挑戦する世界中の人々から注目を集めているのはご存じだろうか。

そのスポーツとは水泳の中でも特に過酷といわれている「遠泳」です。プールではなく、海や湖などの自然の中で天候などに左右されながら完泳を目指す競技で、ときにはフランス・イギリス間など国家間をまたぐ遠泳もあり、津軽海峡遠泳も、これら長距離遠泳のひとつに数えられます。

ドーバー海峡、カタリナ海峡、クック海峡、ジブラルタル海峡、モロカイ海峡、ノース海峡、津軽海峡の7つの海峡を総称して世界7大海峡(オーシャンズ・セブン)と呼び、7大海峡制覇に挑戦するスイマーが後を絶ちません。

町では、昨年8月に津軽海峡遠泳連盟を設立し、遠泳に挑戦したいスイマーのサポートを開始しました。今年度は10名の海外スイマーが小泊の権現崎から北海道の白神岬付近までおよそ30kmの完泳を目指します。

その1回目として6月20日に二人のスイマーが遠泳に挑戦しました。

曇

り空ながらも、序盤は順調に北海道側へ近づいた2人。終盤で入り組んだ潮の流れに苦戦するも、ステイブさんは午後2時、エドワードさんは午後4時に北海道福島町海岸にたどり着きました。

特にエドワードさんは、今回の津軽海峡遠泳の成功によって、みごと7大海峡制覇を果たしました。南米出身男性では初めての快挙です。

ここがポイント②

津軽海峡遠泳の挑戦時間は、その日の日の出から日没までです。陽が沈んでしまつとこれだけ体力が残っていても挑戦中止となってしまうので、スイマーは時間間に合うよう日の出直後からスタートします。



スティーブ・リーチさん(51)：出身スコットランド
今回の遠泳成功で3海峡を制覇(役場記録タイム：10時間4分)



エドワード・コラスズさん(54)：出身ペルー
今回の遠泳成功で7大海峡を制覇(役場記録タイム：12時間11分)

令和7年度遠泳実施期間(6/30時点)

- 1回目：6月20日(金) 終了いたしました。
2回目：7月3日(木) ~ 7日(月) のいずれか1日
3回目：7月18日(金) ~ 22日(火) のいずれか1日
4回目：8月1日(金) ~ 5日(火) のいずれか1日

お問合せ先

(一社)中泊町文化観光交流協会内
津軽海峡遠泳連盟 ☎0173-57-9030
<https://nakadomari-ctea.jp/archives/1501>